



新機能および変更情報

日付	変更内容
2022年10月4日	代替の電子メールアドレスをマップする方法について、「 ユーザー属性のマップ 」項に、情報を追加しました。
2022年8月25日	<i>Active Directory</i> およびクラウド属性への新しい属性マッピングが追加されました。この属性マッピングは、Azure AD ユーザーを Webex に同期する前にオンプレミスの AD に移動する場合にのみ必要です。
2022年8月8日	<ul style="list-style-type: none">• ユーザー属性マッピングの削除とプロフィール画像の管理に関する新しい項が追加されました。
2022年6月28日	<ul style="list-style-type: none">• レポートの概要を説明する「Active Directory ユーザーに予定演習の同期を実行する」セクションに、一致するオブジェクトと一致しないオブジェクトの定義を追加しました。
2022年4月15日	<ul style="list-style-type: none">• 新しいセクション「論理削除後のユーザーの完全削除」を追加しました。
2021年10月18日	<ul style="list-style-type: none">• 「Webex Teams」の言及を「Webex アプリ」に変更しました。• 「準備と展開」章で、ライセンス割り当てのためのグループ同期に関する詳細を追加しました。
2020年7月14日	<ul style="list-style-type: none">• ユーザーの電子メールアカウントが競合しているでユーザーを要求する際の作業詳細を更新しました。
2020年6月18日	<ul style="list-style-type: none">• 「同期する Active Directory オブジェクトの選択」手順を更新して、ルームデータの属性をカスタマイズする方法を含めました（リリース 3.6）。• ディレクトリコネクタのインストールの Directory Connector ダウンロードリンクを更新しました。

日付	変更内容
2020年7月2日	<ul style="list-style-type: none"> • Active Directory とクラウド属性 のテーブルに、userAccountControl および ds-pwp-account-disabled 属性を追加しました。
2020年4月21日	<ul style="list-style-type: none"> • 「Active Directory ユーザとクラウドの完全同期を実行する」に注記を追加して、自動割り当てライセンステンプレートが更新されたユーザではなく新規ユーザにのみ適用されることを明確にしました。
2020年2月5日	「 Active Directory ユーザとクラウドの完全同期を実行する 」において、不適切なテキストの削除を明示しました。
2019年12月13日	<ul style="list-style-type: none"> • 「プロキシ設定」および「Cisco Directory Connector のトラブルシューティング」の項で、cloudconnector.cisco.comからCLOUDCONNECTOR.WEBEX.COMへのURL参照を変更しました。
2019年11月8日	<ul style="list-style-type: none"> • 「[Choose Active Directory Objects To Synchronize]」セクションに次の情報が追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> • たとえば、特定のグループ内のユーザのみを同期する場合は、[ユーザ ldap フィルタ (users ldap filters)] フィールドに ldap フィルタを入力する必要があります。Example manager グループのユーザを同期する場合は、次のようなフィルタを使用します。 <pre>(& (sAMAccountName = *) (memberOf = cn = Example-manager, ou = Example, ou = Security Group, dc = COMPANY))</pre> • 「Cisco Directory Connector のインストール要件」セクションに、アカウント権限の詳細とスクリーンショットが追加されました。
2019年10月29日	Windows と Active Directory の要件 で Windows Server 2019 のサポートを追加しました。
2019年10月18日	新しい項として、 サイジング情報 を追加。

日付	変更内容
2019年10月8日	<ul style="list-style-type: none">• 新しいセクションディレクトリ同期の結果に関する電子メールレポートの送信 (リリース 3.5) が追加されました。• 差分増分同期の実行同期がどのように機能するか (完全同期と比較) に関する詳細情報で更新されました。また、デフォルトの間隔を30分 (3.5 よりも前のリリース) から4時間 (リリース3.5 以降) に更新しました。• ログディレクトリ コネクタ へのトラブルシュートを有効化ファイルの新しい場所 (リリース 3.5) を説明するように更新されました。• コントロールユーザーの電子メールアカウントが競合しているハブの[ユーザの変換 (Convert User)] 手順へのリンクで更新されました。• 次の新しいセクションを追加。 SSO サインイン中にディレクトリ コネクタ がクラッシュする
2019年6月26日	<ul style="list-style-type: none">• 新しい項を追加：誤って削除したユーザの復元。• Webex ユーザ属性のマッピング Teams の people insights および contact card に接続されている属性で更新されました。• 各Active Directory とクラウド属性属性に関する「追加のメモ」で更新されました。

日付	変更内容
2019年5月20日	<p>バージョン 3.4 Cisco directory connectorがリリースされました。既存のインストール環境では、アップグレードプロンプトが表示できます。新規インストールの場合は、リリースノートの上部にある手順とリンクを使用してください。</p> <p>このリリースには、次の機能の更新と拡張機能(および対応するドキュメントの更新)が含まれています。</p> <p>診断ツール</p> <p>組み込み診断ツールを使用して、Cisco Directory Connector の導入をトラブルシューティングできます。同期が正しく機能しない場合は、設定またはネットワークエラーが発生している可能性があります。このツールは、サポートに連絡する前にエラーを診断できるように、Active Directory への接続をテストします。詳細については、診断ツールを実行を参照してください。</p> <p>セキュアLDAP (LDAPS)</p> <p>Cisco Directory Connector は、Active Directory とドメインコントローラ間の通信プロトコルとして LDAPS をサポートするようになりました。LDAP はデフォルトですが、セキュアで暗号化された通信の一般設定で LDAPS を選択できます。詳細については、一般設定の構成: ディレクトリ コネクタを参照してください。</p> <p>属性検証メッセージの機能拡張</p> <p>Cisco Directory Connector は、クラウドアイデンティティサービス内の uid の属性値を確認し、選択したフィルタオプションの下で使用可能な3つのユーザを取得します。これら3人のユーザのすべてに有効な電子メール形式がある場合、ソフトウェアは検証ポップアップを表示します。このテスト中にエラーが表示された場合は、警告メッセージが表示されます。詳細については、ユーザ属性のマッピングを参照してください。</p>

日付	変更内容
2019年2月18日	

日付	変更内容
	<p>Cisco Directory Connector 3.3 には、次の新機能が含まれています。</p> <p>カスタマイズされた属性</p> <p>Directory Connector は、式ベースの属性のカスタマイズをサポートできるようになりました。以前は、アプリケーションには、「GivenName SN」などのカスタマー要求をサポートするために、いくつかの事前定義されたハードコードされた組み合わせがありました。お客様が属性の組み合わせに対して異なる要求を行った場合、engineering は手動で追加する必要があります。この機能により、独自の属性の組み合わせを定義できるため、柔軟性が向上します。</p> <p>詳細なガイダンスについては、ドキュメントの次のセクションを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザ属性のマッピング (更新) • カスタマイズされた属性の式 (新規) • Active Directory とクラウド属性 (更新) • ディレクトリ Webex アプリ同期後のユーザ名形式の変更 (更新) <p>Kerberos プロキシのサポート</p> <p>Directory Connector は、ローカルネットワークプロキシのプロキシ設定を読み取ることができます。Windows システムでは、アプリケーションはインターネットネットワークオプションの設定を活用します。</p> <p>組み込みアバタープロファイルの同期</p> <p>新しいコネクタアプリケーションは、アバター raw イメージバイナリデータを読み取り、Cisco Webex クラウドと同期することができます。</p> <p>次のドキュメントの更新を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Active Directory 属性からクラウドへのディレクトリアバターの同期 (新規) • リソースサーバからクラウドへのディレクトリアバターの同期 (更新) <p>さらに多くの AD 属性を UID にマッピングできます</p> <p>クラウド uid にマッピングするために AD 属性を管理する必要がありますお客様が増えています。このバージョンでは、任意の属性を uid に自由にマッピングできます。当社の推奨事項は、引き続き電子メールまたは UserPrincipleName を使用することです。提案されたものの代わりに属性を選択すると、アプリケーションは、マップ</p>

日付	変更内容
	<p>元の値が電子メール形式であることを通知するアラートをポップアップ表示します。</p> <p>次のドキュメントの更新を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• ユーザ属性のマッピング (更新)• Active Directory とクラウド属性 (更新) <p>新しいバージョンへの自動アップグレード</p> <p>Cisco Directory Connector は最新バージョンに更新しておくことが重要です。3.3 では、新しいバージョンの準備が整ったときに、アプリケーションに自動アップグレードを実行させることができます。チェックボックスをオンにするだけで、アプリはサイレントにインストールを実行できます。気を変更した場合は、設定に戻り、機能をオフにすることができます。</p> <p>次のドキュメントの更新を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• 自動アップグレードの設定 (新規)• 最新のソフトウェアリリースへのアップグレード (更新) <p>URL ベースのアバターファイルにアクセスするためのクレデンシャル</p> <p>クレデンシャルが必要な web リソースサーバでアバターリソースを管理できます。新しいバージョンでは、同期の前にクレデンシャルを指定できます。その後、Directory Connector はすべてのアバターデータをクラウドに同期できます。</p> <p>次のドキュメントの更新を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• リソースサーバからクラウドへのディレクトリアバターの同期 (更新)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。